

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
辻堂駅周辺地区

平成28年9月

神奈川県藤沢市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4 - 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
指標1	駅乗降客数	人/日	90,000	123,700	125,169	確定		あり	111,450	H28年3月		評価値(見込値)を設定する際、数値化することが困難であったため地区内の施設利用者の想定を加味して算定している。確定値については、従前値同様鉄道事業者発表の駅乗車人員を確定値とした。	改善策はそのまま新たに改善策をたてる	目標には届かなかったが、駅乗降客数は、123.8%に増加している。また、土地地区画整理事業やデッキ等の駅周辺整備等により、物販・居住・福祉等の施設が立地し、多様な都市機能が集積され、事業効果は確認できた。
						見込み								
指標2	従業者数	人	7,703	15,400	13,403	確定		あり	14,949	H28年3月		改善策はそのまま新たに改善策をたてる	社会経済情勢より施設立地が遅れ、目標達成には至らなかったが、土地地区画整理事業やデッキ等の駅周辺整備等により、物販・居住・福祉等の施設が立地し、新たな雇用機能が創出され、従業員数の増加に効果があった。	
						見込み		なし						
指標3	居住者人口	人	3,170	5,470	4,736	確定		あり	5,590	H28年3月		改善策はそのまま新たに改善策をたてる	社会経済情勢より住宅建築が遅れ、目標達成には時間がかかったが、安全で快適な都市基盤が整い、駅へのアクセス性が高く、かつ、多様な機能が集積した利便性の高い住宅地が創出されたことで、居住人口の増加に効果があった。	
						見込み		なし						

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入

フォローアップの必要のある指標について記入

全ての指標について記入

様式4 - その他の数値指標の確定

指 標		単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	都市機能集積数	機能	7	/	27	確定	/	/	32	H28年3月	/	/	改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	多様な機能を持つ都市拠点の形成を目指し、土地区画整理事業に取組むとともに、デッキ等の駅周辺整備を行ったことにより、物販・居住等の多様な都市機能が集積という効果発現が見られ、魅力的な都市拠点の形成に寄与した。
						見込み	/	/						
その他の数値指標2	居住世帯数	世帯	1348	/	1967	確定	/	/	2386	H28年3月	/	/	改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	土地区画整理事業により安全で快適な都市基盤が整い、デッキ等の駅周辺整備により駅へのアクセス性が高く、かつ、多様な機能が集積した利便性の高い住宅地が創出されたことで、居住世帯が増加した。
						見込み	/	/						
その他の数値指標3	緑化率	%	5.4	/	14.0	確定	/	/	17.2	H28年3月	/	/	改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	公園や街路樹等の緑の増加に加え、持続的な運営体制の実現を目指し、「まちづくり調整委員会」を中心に進出企業との景観形成等の調整により積極的な宅地内緑化も行われ、快適な自然・都市環境創出されるとともに、公園に耐震性貯水槽等が整備され地域の防災機能も強化された。
						見込み	/	/						

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入

フォローアップの必要のある指標について記入

全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4 - 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5 - に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	駅周辺における景観の維持	・景観条例・広告物条例・地区計画等の法規制やまちづくりガイドラインによる適切な指導。	進出事業者の円滑な施設建設に向け、適切に指導・支援を行った。	タウンマネジメント組織に向けた検討・支援。
	緑のオープンスペースの維持管理	・公園は、指定管理者の指定による維持管理。 ・街路樹は、適切な剪定等の実施。	適切な剪定等の実施により保全維持された。	
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	駅北口周辺の駐輪対策	・駅北口駅前広場に新たな自転車駐車場の併設。	自転車駐車場を併設したことで放置自転車が減少した。	
	駅南口の安全性・利便性の向上	・駅南口デッキの整備及び、駅前広場のバス・タクシー乗降場の再配置を行うとともに、一般乗降スペースを新たに確保する等の整備。	駅南口の歩行者の安全性・利便性の向上、南北交流軸の強化及び交通の円滑化を図った。	
	駅周辺の交通対策	・市の土地を進出事業者に貸出し、駐車場として利用。	・市の土地を進出事業者に貸出し、駐車場として利用したことで、交通対策として一定の効果はあった。	イベントや雨の時には、交通渋滞が起こるため、進出事業者と連携し交通対策について、引き続き検討する必要がある。

事後評価シート 添付様式5 - から転記

様式4 - フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項